

東北・故郷での再就職の今

UIJ
TURN TURN TURN

JiMoTo
DE
ShiGoTo!!

R
RE-EMPLOYMENT



東北へ・故郷へ・新天地へ 働くこと。築くこと。

大都市圏で働く人がある。

故郷で働く人がある。

故郷の近くで働く人がある。

そして都市で生まれ新天地で
働く人がある。

働く場所は、

今働いている場所だけではない。

今と違うどこかで働くことは、
不安や恐れもあるだろう。

しかし、先人たちの姿を見れば
自分の未来が想像できる。

さあ、自分にふさわしい未来を見てみよう。



INTERVIEW

01

TURN

長い研究生生活で培った 思考法が仕事の助けに

野中拓さん

2001年入社



鶏肉生産量日本第3位の岩手県の県北地域にある株式会社十文字カンパニーは、鶏肉製品の生産販売を手掛ける会社です。そこで働く野中さんは、2001年に入社した生産部生産一課の課長です。こだわりのブランド鶏肉を消費者に届けるために日々働く野中さんに、お仕事のことや普段の生活のことなどを伺いました。

*入社したきっかけ

山形大学農学部で微生物の研究を長く続けていましたが、そろそろ研究生生活も潮時となり、会社勤めて自分の知識を実社会で活かしていきたいと考えていた38歳の時に、自分の考えと合致した十文字チキンカンパニーに入社しました。



COMPANY * PROFILE *

株式会社十文字チキンカンパニー

岩手県二戸市石切所字火行塚25番地

TEL : 0195-23-3377

FAX : 0195-22-4366

<http://www.chicken.co.jp/>



事業内容：

鶏肉製品生産・販売/非加熱加工鶏肉製品/
生産農場運営/種鶏場運営/孵卵場運営/電
力発電・販売/有機質肥料生産・販売など

野中さんの一日

17 .. 10	16 30	10 00	8 30	8 00	7 40
退社	当日の写真、報告のまとめ	帰社 農場で指導	を確認、資材等発注	農場から鶏の健康状態の報告	ラジオ体操 出社

*いまのしごと

会社では、研究のように自分のやりたいことではなく、できることを最大限チャレンジしてみようという気持ちでした。

現在の仕事は、養鶏農場の指導員です。担当する13ヶ所の契約農場・委託農場を回り、飼育のノウハウや技術を伝え、農場の皆さんと協力しながら、より良い鶏が育つように努力しています。

また、課長として部下4名をまとめながら、社内のお他部署との交渉なども担当しています。

特に、今の仕事のなかで重要なのが生産管理の役割です。求められる契約農家の出荷量をいかに安定させることができるか、また、出荷数量が少なくなる予測が出た場合に、どのような対応を取るかが求められる重要な仕事です。

今の仕事に、大学の研究成果を直接活かしているわけではありません。その代わりに長年の研究生活で身につけた「課題に対する思考法」のようなものが活かされていると感じています。

*二戸ではたらく魅力

会社の雰囲気も良く、この地の気候も良いので、今の生活には満足しています。二戸周辺は地盤が強く、大きな災害が発生しないところなので安心です。

また、都会とは異なり、情報の雑音が少ないので、ゆつくりと仕事や家族との生活に打ち込むことができます。

*未来へのビジョン

当社の目指す、「岩手県を鶏肉生産日本一に」という目標に向かって、現在担当している農家さんに安定して生産してもらいうように、農家さんと一緒に頑張っていきたいと思っています。

仕事の際は、部下に「たとえ自分の考えが正しいと思っても、それを農家さんに押し付けるだけではうまくいかない。相手の農家さんに伝える言葉にも配慮しなさい」と指導しています。技術の指導だけでなく、人との接し方にも気を配っていきたいと思っています。

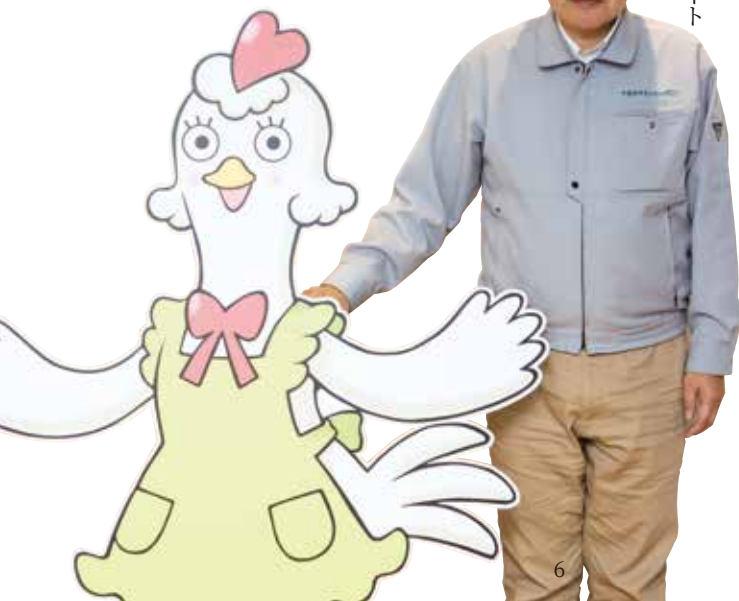
*オフタイム

一番の楽しみは小学校1年生の娘と遊ぶ時間。ラグビーワールドカップをテレビで見ただ後は、タックルの練習に付き合ったこともあります。かわいい一人娘ですが、子供と遊ぶには体力が必要と痛感しています。

また、当社では仕事のほか、プライベート

移住した私から

馴染みのない土地で知人も全くいない状態だったので不安でした。しかし、就職してみるとすんなりと私を受け入れてくれました。当社は中途採用の方でも全く不利はありません。



でも社員同士の仲が良く、社員が色々なイベント等に家族と一緒に参加することも多いです。



INTERVIEW

02

R
RE-EMPLOYMENT

地元の人間の力が 被災地復興の力になる

伏見翔さん

2019年入社

福島エコクリート株式会社は、石炭火力発電所などから1日240tも排出される石炭灰をリサイクルし、建築資材ORクリートを製造・販売する会社です。

そこで働く伏見さんは福島県相馬市出身。現在は、事業部で大型重機を操りながら、製品の搬送や出荷を行っています。

現在の仕事や生活について伏見さんに伺いました。

*入社したきっかけ

高校卒業後、仙台市にあるビジネス専門学校へと進み、卒業後、福島県南相馬市にある建設会社に就職し、3年半勤めました。

その後、知人である福島エコクリートの社員から会社の話を色々と聞くうちに、会社的魅力を感じるようになり、経験のある重機を扱う仕事でもあったので入社しました。



重機を使って1次ストックヤードにORクリートを仮置き

*いまのしごと

事業部では、プラントでブロック状に成型されたORクリートの品質を安定させるため、ORクリートを1次ストックヤードという屋外の置き場に1週間ほど置き、養生するのですが、これら作業のうち、重機でブロック状のORクリートをストックヤードまで搬送する仕事を担当しています。

このほか、完成した碎石状のORクリートを出荷用のダンプへ積み込む作業も行っています。

いずれも工場の敷地内での作業なので、安全第一で作業を行っています。

*未来へのビジョン

入社してから2年、まだ一つの担当部署でしか働いていません。これから、もっと視野を広げ、社内で色々な仕事を経験したいと思っています。

*地元ではたらく魅力

昔からよく知った場所・土地だからこそ安心して働けるという思いがあります。

また、私は家族、友人が近くにいるのも安心感につながっています。

復興に向けた想い

福島で地元で働くことが復興の力になると思います。

地元出身の人間が中心になって復興に携わっていることが大切だと思います。





COMPANY * PROFILE *

福島エコクリート株式会社

福島県南相馬市小高区女場字猿田1番地23

TEL: 0244-26-4198

FAX: 0244-26-4199

<http://www.fukushima-ec.com/>

事業内容:

コンクリート二次製品等の

製造販売/再生砕石及び

これに類する再生建設資材の製造販売/砕石・骨材などの販売/産業廃棄物の中間処理



伏見さんの一日

17 .. 00	13 .. 00	12 .. 00	8 .. 00
退社	出荷用の積み込み	重機での搬送作業	作業
	重機での搬送作業	出荷用の積み込み	出社
	お昼休憩		



*オフタイム

学生時代からサッカーをやっています。
今は社会人サッカーチームに所属し、休みの日に練習や、試合をしたりして楽しんでいます。

INTERVIEW

03

U
TURN

今まで培った技術と経験を 地元の中小企業に残したい

山田政利さん

2015年入社

アルファ電子株式会社は、高品質なモノづくりはもちろんのこと、知恵と情熱でプラスαの価値を提供し、お客様に感動を与えている会社です。

そこで働く山田さんは入社6年目で、開発部に所属しています。以前は大手メーカーの設計部署に勤務し、退職するまで25年間、管理職でした。

しかし、会社の要請で転職することになり、50代になってから新たな環境へと飛び込みました。

福島県へUターンするに至るまでの様々なお話を山田さんに伺いました。

*入社したきっかけ

横浜にある大手メーカーに勤めていましたが、会社からの再就職支援で、大手の求人情報企業を案内されました。この機会に、横浜から故郷福島へUターンしようと思ったのですが、大手求人情報では、自分



COMPANY * PROFILE *

アルファ電子株式会社

福島県岩瀬郡天栄村大字飯豊字向原 60-2

TEL : 0248-83-2139

FAX : 0248-83-2330

<https://www.alpha-d.com/>



事業内容：

医療機器・電子機器・開発設計・部品関連
からの一貫生産対応 / 電気機器完成品組立 /
各種生産組立自動機・治工具製作 / 海外生
産品の品質保証・出荷業務 / 電子部品組立・
梱包出荷業務請負 / SMT 実装、手はんだ付
け / PWB フローはんだ・手はんだ付け・各
種コネクタ組立 / 構内請負事業 / 出張リ
ワーク代行・ハンドキャリー代行

山田さんの一日

17:30 ～ 18:30	15:00 ～ 15:10	12:00 ～ 12:40	10:00 ～ 10:10	8:15 ～ 8:45	7:45
退社	作業	作業	作業	幹部ミーティング	出社
	休憩	お昼休憩	休憩		

*いまのしごと

に適した仕事の会社をなかなか見つけれ
ず、福島県のハローワークを訪れ、仕事を探
すことに切り替えました。
その求人票のなかにアルファ電子の求
人を見つけ、今までと同じような業種であ
り、これまでの経験が活かせる、自分に向
いていると思い、応募しました。

前職では、25年間管理職だったため、久し
振りの設計業務でした。アルファ電子には
設計の専門部署がなく、ラインの立ち上げ
時の治具や作業機を制作することから始
めました。自分でパイプを切ったりするな
ど、実際に手を動かして物を作ることにな
り、私にとっては初めての経験でした。また、
工程のなかで必要なQC工程図、組立作
業指示書、不良の管理方法など、実際に
業務で担当することも初めてで新鮮な体験
でした。

現在は、回路図を引き、パッケージ設計
を依頼し、上がってきた製品のデバッグ作
業を行っています。

ただ、会社や若手の将来のため、自分で
手を動かして作業するというよりも、若手
にどんどん作業をさせて、経験を積みませ
なければと考えています。

転職した私から

地道にハローワークを探した方が良い結果が出ると思います。ハローワークに行くことで、自分の知らない地元の会社を知ることができました。



*地元ではたらく魅力

元々、須賀川市に持ち家があり、横浜市へは単身赴任でした。今は自宅から通え、家族とも一緒に過ごせるので、とても気が休まります。

また、横浜市の会社に勤めていた頃は、終電を気にしながら仕事をしなければならず、時には終電を逃して会社に泊まることもありました。今は車での通勤なので、電車の時間に通勤を左右されることがなくなりました。

*未来へのビジョン

若手の人材を育てたい。特に、問題が発生した時に、それを解決できるような人材を育てたい。それが、この会社にながら自分の一番の使命だと思っています。

また、今の会社に私が来てから、開発部門を作ったので、何とか継続・発展できるようにしたいと考えています。

*オフタイム

一つのことに没頭しやすい性格なので、仕事に関連した調べものをしてることが多いです。それ以外は、家でゆっくりと過ごしています。

INTERVIEW

04

R
RE-EMPLOYMENT

常に学びながら 介護の現場を立ち上げる

佐藤翔太さん

2016年入社

株式会社エコは、福島県郡山市で介護事業を展開している会社で、地域に貢献すること、人間としての尊厳を損なわずに暮らしていけるようなケアを提供することを理念に、地域の人たちと共に活動しています。

佐藤さんは福島県郡山市出身。同社が運営するグループホーム「かんりん」の管理者です。認知症を患っている高齢者専門のグループホームで、運営、事務、スタッフ管理、入居者の体調管理と幅広く活躍しています。

入社4年目となる佐藤さんに現在の仕事や生活について伺いました。

*入社したきっかけ

前職はネジを扱う商社の営業マンでした。転職を考えた時に、エコの求人が目に入りました。

留まり応募。まずは介護の現場に配属されて働いていたところ、現場が気に入ってそのまま勤務することになりました。

*いまの暮らし

現在は、グループホーム「かんりん」の運営、事務、スタッフの管理から入居者の体調管理業務に携わっており、管理者になつてちょうど半年経ちます。

7月に管理者になったばかりですが、スタッフ全員の働く環境づくり、仕組みづくりを行っています。その環境ができたなら、スタッフが無理なく働くことができるようになるので、今はまず、自分が無理をして頑張らなければならないと思います。

このような考えに至ったのは、高校卒業後、入社した縫製工場での経験からきています。縫製工場では、工場の機械の整備や能率を上げるための業務を担当していましたが、その時に、工程を始める前に仕事が可能でできるようにしっかり準備するなど、人に仕事をしてもらう環境を作ることの重要性を学びました。縫製工場は女性

が中心だったので、その点も介護老人ホームの現場と似ており、経験したことが様々な点で活きていると思います。

しかし、介護技術は入社してからずっと勉強続きで、介護の制度や手法も日々変化しています。変化の激しい介護業界なので、これからも常に勉強しながら従事していかなければと考えています。

*未来へのビジョン

他社と連携し、色々な行事を開催したり、IT技術を充実したりしていきたい。管理者としてしっかり準備をし、入居者、その家族、スタッフに快適に過ごしてもらえるように頑張ります。

*地元ではたらく魅力

家族、友人が側にいることが大きいです。また、若い頃から続けているバンド活動が継続できるのは地元にいるからこそ。

ただし、グループホームの勤務体系はシフト制なので、メンバーと一緒に練習することが難しくなっています。

転職した私から

震災後は県外に行かなくてはならなかったし、行かざるを得ないことが多かったです。

最近は、業種にもよりますが、介護の現場は被災したことで影響を受けている点はないと思うので、福島へ戻ってきたら良いと思います。探せば良い会社が見つかりますよ。



COMPANY * PROFILE *

株式会社エコ

福島県郡山市喜久田町卸一丁目117番地1

TEL : 024-954-8038

FAX : 024-963-1107

<http://eco-kaigo.co.jp/>



事業内容：

認知症対応型グループホーム/訪問介護事業所、通所介護事業所/居宅介護支援事業所/サービス付き高齢者向け住宅運営/介護タクシー事業/小規模多機能型居宅介護事業所/定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所

佐藤さんの一日

18 00	17 30	15 00	13 30	12 00	10 00	9 00
退社	夕食の提供	レクリエーション（塗り絵など） おやつ	レクリエーション（塗り絵など） 記録作成	口腔ケア・トイレサポート 昼食提供（職員も一緒に）	おやつ対応・身体介護 体操・お茶提供	出社



* オフタイム

今はグループホームの立ち上げ期なので、体制を整えるまでは仕事が優先です。体制が整ったら、あとはスタッフに任せてゆっくり休めるようにしたいと思います。以前からバンド活動しており、今でも集まって演奏をしています。また休めるようになったら活動再開です。

INTERVIEW

05

U
TURN

様々な経験が 今の会社で 活かしている

齋藤哲也さん

2017年入社

ベルグ福島株式会社は、人工光利用型（閉鎖型）と太陽光利用型の育苗施設で野菜苗の生産を行う会社です。

そこで働く齋藤さんは入社3年目で生産部接木課に所属しています。接ぎ木エリアでは、おいしい果実を多く収穫できる植物と根の張りが良く病気に強い植物をつなぎ合わせて、双方の優良な性質を持ち合わせた野菜苗を作るための接ぎ木作業を行っています。

齋藤さんに、お仕事のこと、これからのことを色々伺いました。

*入社したきっかけ

東京農業大学短期大学部卒業後、東京で電気工事会社にて2年間勤務していました。当時から、私の兄はベルグ福島に勤務していました。ベルグ福島が野菜苗の生産を行っ



COMPANY * PROFILE *

ベルグ福島株式会社

福島県伊達郡川俣町大字羽田字曾利田10-1

TEL: 024-572-6393

FAX: 024-572-6394

[http://www.bergearth.co.jp/company/
accessmap.html#hukushima](http://www.bergearth.co.jp/company/accessmap.html#hukushima)



事業内容:

野菜苗の生産・販売



ていることや、人手不足の状況であること
を兄から聞き、元々農大出身なので農業関
係の仕事に就きたいと考えていたことから、
電気工事会社を退職し、兄の紹介で入社す
ることになりました。当初は契約社員とし
て入社し、後に正社員となりました。

* つまのついで *

今は接ぎ木をするパートタイマーの方々の仕
事の段取り・準備をしています。

接ぎ木は品種混入があつてはならないため、
多品種の苗を注文通りの数量と品質に揃え
る下準備が大切です。そのため、下準備が整っ
た状態で、パートタイマーの方々に作業を行っ
てもらえるようにしています。

接ぎ木作業は時間単位の出来高で、良い
結果が出ると努力が報われたことが数値で
分かるので、やる気につながります。

また、当社では5S活動（整理・整頓・清
掃・清潔・しつけ）を行っており、業務で必要
な道具を作ったりすることもあります。グライ
ンダーなどの工具を使って道具を作っている時
は前職の経験が活きていると感じます。

転職した私から

どんな仕事でも頑張っていると必ずどこかに繋がってくると思います。

また、自分の意見を胸に秘めておくだけでなく、きちんと伝えた方が良い。

東日本大震災で被災した会社は、結束力が高く、みんなで頑張ろうというムードがあります。

齋藤さんの一日

17:20	17:00	15:00 ~ 15:15	12:00 ~ 13:00	10:00 ~ 10:15	8:25
退社（繁忙期は19時）	エリア内ミーティング 終礼	提出資料作成 休憩	作業 お昼休憩	作業 休憩	朝礼 作業段取り

*地元で はたらく魅力

東京での生活は、人が多いのが苦手で満員電車も苦痛でした。そもそも自然が多いところでスローライフを送りたいと考えていたので、今はゆっくりとした生活ができて嬉しいです。

家族にも「東京にいた時よりも笑顔が増えたね」と言われます。

*未来へのビジョン

当社では、半期ごとに自分の目標を立てています。この半期の目標として、繁忙期に來てもらっている期間従業員の方の能率アップを掲げています。その目標をクリアできるように頑張ります。

INTERVIEW

06

R

RE-EMPLOYMENT

環境が変わっても 学び・技術を磨く

長澤慎也さん

2014年入社

東工株式会社は、福島県いわき市で自動車用の板バネなどの金属プレス加工を行っている会社です。

そこで働く長澤さんは生まれも育ちもいわき市。現在は製造部製造係で板バネの自動車部品製造のオペレーターを務めています。

様々な転職経験を経て、同社に入社した長澤さんに、現在の仕事や生活についてお話を伺いました。

*入社したきっかけ

これまで、いわき市内の様々な会社を渡り歩きましたが、前の職場で知り合い、後に東工へ転職された方から「仕事を手伝ってほしい。」と誘われたのがきっかけです。

会社を見学しに行った時、工場で見た60年ほど前のドイツのマルチフォーミング機が

どのような動きをするのか実際に触って見たくなりました。また、当時勤務していた会社は残業も多く、精神的にも厳しい状態を強いられていたので、東工への入社を決断しました。

*いまのついで

製造部製造係で、金型の製造オペレーターを行っています。前職でも金型製造を行っていましたが、会社が変わると設備や金型が全く異なるので、入社後に一から学び直しました。

先輩社員から教わった通りに作業していても、上手くいかないこともあります。また、職人の世界なので、言葉で指導してもらおうというより、自分の仕事を見て覚えろという雰囲気があります。いくら機械とはいえ、オペレーターの感覚が左右することもまだまだ多く、自分の感覚で調整を行いながら機械に慣れていきました。

さらに、工場にある板バネ自動車部品製造の機械は東北に数台しかない珍しい設備であるため、自分で模索しながら作業を進めていきますが、しっかり考えないと失敗

につながってしまいます。

現在は、生産予定に則って作業をしています。ですが、そのスケジュールを自分で組み立てながら作業をしています。大体1ヶ月くらいの作業を自己管理し、納期に間に合わせるようにしています。以前勤めていた工場と比べて作業に裁量が求められるようになりました。

転職した私から

どんな知識や経験も、自分で身に付けたものは、いつか役に立ちます。無駄なことはありません。色々なことに挑戦して、様々な経験を積み重ねてください。

*未来へのビジョン

最近、責任のある立場になりました。人とは信頼関係が大切だと思うので、社員同士できるだけコミュニケーションをとり、信頼して仕事を任せてもらえるような人間になりたいです。





COMPANY * PROFILE *

東工株式会社

本社：神奈川県大和市つきみ野 1-1-4

福島工場：福島県いわき市小名浜島西屋 88

TEL：0246-38-7120

FAX：0246-38-7121

<http://www.tohkoh-corp.co.jp/>



事業内容：

金型設計・製作 / プレス&フォーミング加工
/ 精密うす板ばね / 電子機器パーツ / 超硬金
型部品加工販売



長澤さんの一日

17 00	16 50	15 00	12 00	10 00	7 50
退社	清掃	作業 小休憩	プレスの作業 お昼休憩	プレスの作業 小休憩	始業 プレスの作業 ラジオ体操と朝礼

*地元ではたらく魅力

私はずっといわき市に住んでいます。転職は多いですが、慣れ親しんだ地元から都会へ出るよりも、ここでできる仕事を突き詰めていき、地元に貢献していきたいです。それができるのは、地元で働く魅力の一つだと思います。

*オフタイム

会社の同僚とバトミントンや卓球を楽しんでいます。バトミントンは施設を借りていますが、卓球は、同僚の家に卓球専用の部屋があるので、そこに4、5人で集まって楽しんでいます。

近々、ローカルな大会ですが、仲間とチームを組んで出場するつもりです。

INTERVIEW

07

U
TURN

石巻の魅力を 自分たちでつくる

佐藤正健さん

2018年入社

有限会社マルマサ近藤水産は、海苔の養殖から製造販売を行う宮城県石巻市の水産事業者です。

そこで働く佐藤さんは地元の石巻市出身。水産高校を卒業後、鹿兒島の会社で働いていましたが、故郷に戻り、2018年にマルマサ近藤水産へ就職。

生まれ故郷で水産業に従事する佐藤さんに今の仕事のこと、地元での生活のことを伺いました。

*入社したきっかけ

水産高校を卒業後、鹿兒島のヒラメ養殖の会社へ就職しました。東日本震災を機に少しずつ地元に戻ることを始め、2013年に14年勤務した会社を退職。両親の存在や故郷が被災地となってしまったことなど、Uターンの後押しとなったきっかけ



COMPANY * PROFILE *

有限会社マルマサ近藤水産

宮城県石巻市塩富町1丁目7-26

TEL : 0225-24-0569

FAX : 0225-24-0669

事業内容：

水産業（海苔養殖業）

佐藤さんの一日

6 .. 00	仕事場に集合
	天候を見て親方が海に出るか決める。波が高い時は休漁（仕事休み）
6 .. 30	出航（海苔の収穫）
8 .. 00	陸へ（海苔を機械に）
10 .. 00	2度目の出航
12 .. 00	陸に戻って食事
13 .. 00	海苔製造ラインのサポート
15 .. 00	終業
繁忙期は海苔の収穫期（11月から4月）。他の時期は陸の仕事が多めのんびりしている。	

* いまのついで *

海苔養殖は年間の中で11月から4月が繁忙期。現在は、先輩2人の手元（作業のサポート）を行っています。海の上で好きな養殖の仕事に携われる喜びを噛みしめながら、勉強する毎日を送っています。

はたくさんありますが、石巻に戻っても水産業に携わり続けたい、自分なりに復興の原動力になりたいと、強い思いを持ってUTターンを決めました。

最初は、ハローワークで紹介された魚粉飼料を製造する会社に入社しましたが、元々好きだった養殖の現場に戻りたいと思い、2018年に転職を決意。海の仕事を探していた時に、石巻を中心に新規漁業就業のサポートをしているフィッシャーマン・ジャパン（P30）を知人が教えてくれました。そこから今の職場を紹介してもらい、希望していた養殖の仕事ができるのはもちろんのこと、働いている人たちの温かい人柄に惹かれたという決めた手になり、入社することになりました。

収穫した海苔は機械に入れて製造しますが、ここで前職の飼料工場での勤務経験が活かせます。機械を扱う仕事のノウハウは共通しているところが多いので、機械の調子を見たり修理をしたりすることもあります。また、小さな会社だからこそ、自分のアイディアや意見をすぐに採用してもらえることもあり、風通しの良さも感じています。

*地元ではたらく魅力

鹿児島には鹿児島の良いところがあるし、石巻には石巻の良いところがあると思います。それぞれメリット・デメリットはありますが、Uターンしたことで、両親の近くにいてあげられることが最も良かったことではないかと思っています。

*未来へのビジョン

機械の取り扱いなど、自分の得意分野を活かしながら、仕事をしっかり続けていきたいです。そして、自分たちのつくる石巻の海苔の魅力を皆さんに伝えていきたいです。

*オフタイム

繁忙期のお休みは天候次第なので、DVDをたくさんレンタルして、まとめて観ています。今は、以前放送した大河ドラマをまとめて鑑賞したいと考えており、「真田丸」から「江姫」までさかのぼる予定です。

転職した私から

もし県外に出ていて、地元に戻ろうか悩んでいるなら、一度帰ってみて、チャレンジしてみましよう！頑張れば何とかなります！



INTERVIEW

08

R

RE-EMPLOYMENT

資格を取得して 仕事の領域を広げたい

尾形春菜さん

2016年入社

菅原グループは、宮城県気仙沼市にある土木工事の会社を中心とした企業グループです。気仙沼市の被災地復興事業にかかるインフラ整備として、道路の復旧や、新しい道路や橋を作る工事などを行っています。

また、海外事業の展開にも注力し、インドネシアのアスファルト再生プラントの建設・運営も行っています。

尾形さんは、菅原グループの菅原工業で事務を担当しており、尾形さんを含めて女性3名で伝票整理や電話対応を行っています。

男性の多い職場で働く尾形さんに会社のこと、未来のことを伺ってみました。

*入社したきっかけ

私は宮城県気仙沼市出身で、以前は仮設住宅の管理会社に勤めていました。仮設

住宅の設備が壊れたりすると、居住者の方から連絡があり、業者を手配して修理等に向かう仕事です。この会社で勤めたことをきっかけに、漠然とまちづくりに関わる仕事に興味を持ち始めました。

震災から時間が経過し、仮設住宅の仕事も一段落ついた頃、まちづくりに携わりたいと考え、転職を決意しました。

ハローワークで「道路をつくる」ことに関わる会社を探していたところ、菅原工業の求人を見。アットホームな会社という求人票の記載を見て、入社を決意しました。

*いまのついで

現在は、伝票整理と電話応対を3人の女性事務員と一緒にしています。

入社当時は、土木業の男性の話方が怖かったり、ぶつきたらばうで専門用語が多く、なかなか話が理解できず苦労しました。

最近では、このような環境にも慣れ、男性陣とのコミュニケーションもとれるようになって

きたと思います。

*未来へのビジョン

2級土木施工管理技士の資格を取るために、試験勉強を頑張る日々です。

この資格を取れば工事現場で現場代理人が務められます。当社では初の女性現場監督になれるかも知れません。

また、運行管理士の資格も取得したいと考えています。運行管理士は、工事現場でたくさんのお客様の運行を効率的に運用するための資格です。取得することで女性の活躍できる場所が増えると思います。

当社には資格取得に向けた勉強会もあ

り、会社がサポートしてくれるので、良い影響を受けながら自分のできる仕事、スキルを高めていきたいと思っています。

将来、5年後10年後にはこの資格を活かせるような仕事をしていきたいと思っています。

*地元ではたらく魅力

私は長女で、下に弟が2人いますが、2人とも気仙沼市外で働いています。

誰かは親の元にはいないといけないと思っていたので、仕事をしながら両親の側にいることができるのが地元で働く良いところです。

学生の頃に外に出たいと思ったことはありますが、今は両親の側で仕事を頑張りたいです。

転職した私から

自分の生活に関係ないと思うものに興味を持つと良いと思います。

色々な世界が広がりますよ。





COMPANY * PROFILE *

株式会社菅原工業

宮城県気仙沼市赤岩迎前田 132

TEL : 0226-23-9661

FAX : 0226-24-6187

<http://sugawarakogyo.co.jp/>



事業内容：

工事業、土木一式・舗装・管・水道施設

土木工事業 / とび / 管工事業 / 舗装工事業

水道施設工事業 / 運送業



尾形さんの一日

17 00	13 00	12 00	8 00	7 30
退社	午後の業務	お昼休憩	始業	出勤

また、昨年は気仙沼市で行っている「気仙沼市担い手育成支援事業」の一環で、「気仙沼で何かをやってみたい」という想いを持つ人たちが、約半年間、6回の講義を通して、実行に向けたプランを作り上げていくプログラムに4期生として参加しました。そこで建設業と会社についてプレゼンテーションを行いました。



以前は仙台の友人に逢いに行ったりしていましたが、最近はおっばら資格取得の勉強です！

*オフタイム

* INTERVIEW *

09

R
RE-EMPLOYMENT

自分のアイデアを活かして

長澤清楓さん
2015年入社

長澤さんの一日

17 .. 00	16 .. 30	13 .. 00	12 .. 00		8 .. 30
退社	清掃・レジ締め	せんべいの製造、包装	お昼休憩（交代制）	せんべいの製造、包装	作業内容の確認 出社

有限会社すがたは、いかせんべいを製造、販売しています。1981年創業の老舗で、創業当時の製法を受け継ぐ看板商品「元祖いかせんべい」は、地元から愛される銘菓です。最近では、「いかせんべいソフト」などの新商品開発も行っています。

地元の銘菓を作り、県内外に向けて情報発信している長澤さんに、現在の仕事のやりがいや地元で働く魅力について伺いました。

*入社したきっかけ

高校生の時は保育士になりたいという思いから、仙台市の専門学校への進学を考えていました。しかし、高校2年生の終わりに東日本大震災を経験したことで、地元に残って仕事をしたいと考えるようになりました。

高校卒業後は、地元でアルバイトなどをしながら自分に合った仕事を探していましたが、以前から今の会社で働いていた姉に誘われ入社しました。



転職した私から

いろいろな悩みましたが、最後は地元での就職に決めました。皆さんもそれぞれの考え方があってと思います。自分の考えた道をしっかり見て活動することが大切だと思います。

COMPANY * PROFILE *

有限会社すがた

本社：岩手県宮古市藤原 3-4-11

TEL：0193-71-2205

FAX：0193-71-2206

工場：岩手県宮古市大字花輪 11-23-1

TEL：0193-89-1550

<http://sugata-ikasenbei.com/>



事業内容：

いかせんべいの製造、卸、小売業

* オフタイム *

姉とよくドライブをしながら、盛岡や金石にショッピングに行きます。家でゲームをしたり、動画を見たりすることもあります。時々、会社の皆さんと食事会に行って、和気あいあいと楽しんだりもします。

* いまのしごと

いかせんべいを焼き、焼けた商品を包装する仕事や、工場に併設されているお店での接客、販売の仕事を担当しています。最近では、イベント出店のお手伝いをする機会も増え、ブース設営から販売まで色々な仕事を経験させてもらっています。

イベント出店時は、先輩や他店のブースをよく観察して勉強しています。徐々に、POPづくりや商品レイアウトなどで自分なりのアイデアを出せるようになりました。自分のアイデアが採用され、商品を手にとってもらえた時は、とても嬉しいですね。

* 地元ではたらく魅力

宮古市は海の幸が豊富で、美味しい食べ物がたくさんあります。

また、接客をしている時に、地元のお客様から温かい声を掛けていただくと、地元のためにも貢献できているなど感じます。

* 未来へのビジョン

当社のいかせんべいは地元での知名度は高いですが、県外ではまだまだ知られていないので、イベントなどにも積極的に参加してPRしていきたいです。

* INTERVIEW *

10

U
TURN

キャリアを活かして 水産業の担い手を増やしたい

高橋さんの一日

18 .. 30	13 .. 00	12 .. 00		8 .. 30 ~ 9 .. 30
退社	浜回りや漁協との打ち合わせ	適宜昼休み	取材や記事の作成など	出社・就業開始(フレックス制 問い合わせ対応)

高橋由季さん
2017年入社

フィッシャーマンジャパンは、水産業を「カッコよくて、稼げて、革新的」な新3K産業にすることを目指し、新世代のフィッシャーマンを増やす担い手育成事業「FRITON PROJECT」などを実施しています。
担い手育成事業を担当し、漁師さんへの取材や求人票の作成、相談の受付などをしている高橋さんにお話を伺いました。

*入社したきっかけ

大学卒業後、東京でデザインや編集の仕事をしていました。いつかは地元に戻りたいという思いもあり、担当していた仕事が二つの区切りを迎えたタイミングでUターンを決意。石巻で働くにあたって、自分の経歴を活かし、地元の魅力を伝えるような仕事がしたいと考えていた時に、友人にフィッシャーマン・ジャパンを紹介してもらいました。



COMPANY * PROFILE *

フィッシャーマン・ジャパン

宮城県石巻市千石町 8-20

TRITON SENGOKU

TEL : 0225-98-7071

FAX : 0225-90-4579

<http://fishermanjapan.com/>



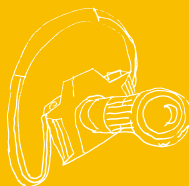
事業内容：担い手育成事業
水産物販売事業

転職した私から

都会に出て経験を積むことも大切です、何かの機会にUターンするのも良いと思います。あまり思いつめずに、興味のあるところに飛び込んでみてはどうでしょうか。

* オフタイム *

旅行や写真を撮ることが好きです。休日も様々な場所に出掛けています。



* いまのしごと

担い手を探している漁業者と、水産業界で働きたい若者をつなげる「TRITON PROJECT」が主な担当です。人と人をつなぐ仕事であるため、細やかな気配りを心掛けています。また、自分の考えを押し付けないということにも気をつけています。

前職で、雑誌の旅連載を担当していたので、漁師の仕事を取材して写真を撮ったり、記事を書くということに、経験を活かしていると思います。自分で手掛ける分、仕事の量も多いですが、やりがいも感じています。

* 地元ではたらく魅力

石巻で暮らすようになって、都会では感じられなかった四季を感じられるようになりました。生まれ育った場所なので、もっと好きになりたいです。

* 未来へのビジョン

水産業の会社如若者が新しく加わると、その会社だけでなく地域全体が元気になると感じます。新規漁業者を増やすことを目指していますが、一人ひとりの重みを大切に、それぞれ丁寧に対応していきたいです。

* INTERVIEW *

11

U
TURN

地元に戻り 人の役に立つ製品を

秋元孝文さん
2014年入社

秋元さんの一日

17:00	13:00	12:00			7:30
退社	午後作業	お昼休憩 (交代制)	回収・検査・仕上	前日から焼いている製品の 機械の設定・成型・窯に投入	出社 メール確認

コドモエナジー株式会社は、蓄光・蛍光建材を福島県川内村で製造している会社です。

製造している「ルナウエア」は、他に類を見ないトップクラスの高輝度性能を備えている蓄光材であり、災害時に避難経路を示すサイン等に使用されています。

川内第一工場は、震災後に社長が川内村役場を訪れて進出意向を示し、グループ全体で福島を支えるためにできた拠点です。

会社とともに、福島復興のために頑張っている秋元さんにお話を伺いました。

*入社したきっかけ

前職は、東京で働いていましたが、忙しい東京の生活に疲れ、地元の福島で働きたいと思い、県内の別の会社に転職しました。その後、震災を機に、より家族の近くで働きたいと思い、地元川内村で働くことを決意しました。



転職した私から

都会で生活している時は、忙しく大変だと日々感じていました。地元だと、収入が低くなりますが、ゆとりをもった生活ができる良さがあります。田舎暮らしの良さと、福島のことをもっと知ってもらえると嬉しいです。

COMPANY * PROFILE *

コドモエナジー株式会社

本社：大阪府大阪市旭区赤川4-2-16

川内第一工場：

福島県双葉郡川内村大字下川内字砂田334

TEL:0240-23-6777

FAX:0240-23-6776

<http://www.codomo-e.co.jp/>



事業内容：

エネルギー関連商品開発及び技術コンサルティング / 知的財産権の実施、使用、利用許諾、維持、管理並びに売買及び貸与 / 経営コンサルティング業務 / 蓄熱材の製造、販売、卸売り、保守サービス / 環境商材の研究開発及び製造販売 / 他

* オフタイム *

趣味の釣りをしに、いわきや富岡へ出掛けたりしています。ヒラメやタイが釣れたこともあります。また、会社の同僚とは、年も近く映画を見に行くこともあります。

趣味の釣りをしに、いわきや富岡へ出掛けたりしています。ヒラメやタイが釣れたこともあります。また、会社の同僚とは、年も近く映画を見に行くこともあります。

* いまのしごと

実家近くの古民家整備を行っていたコドモエナジーに興味を持ち、役場で開催された企業説明会で、福島の復興を支えるために川内村に製造拠点を設けたことを知り、入社することに決めました。

蓄光・蛍光建材である「ルナウェア」の製造を主に行っています。一日当たりの生産量は、大きい物は40〜50枚、小さい物は100枚程度です。

焼き物のため、窯の操作や乾燥機の管理を行っており、焼いている間に書類作成などの事務処理をしています。

工場内で誰も経験していない仕事のため、失敗から学ぶことが多く、機械メーカーに問い合わせてたりして自分で技術を磨いてきました。

* 地元ではたらく魅力

都会に比べると地元は自然があり、落ち着きます。忙しい時は外の景色を見ることで、ゆとりをもって働けることに気付きました。

* 未来へのビジョン

災害時や非常時はもちろんのことですが、日頃から人の役に立つ製品を作りたいです。

* INTERVIEW *

12

TURN

転職した私から

面接官や実際に働いている人、経営者も同じ人間なので、同じ目線で就職活動をしてほしいと思います。

宮城の地で理想のワークライフバランスを

鳴海大輔さん

2019年入社

鳴海さんの一日

20 00	18 00	17 30	17 20	15 15	15 00	13 00	12 00	10 15	10 00	8 30	8 20	8 10
退社	幹部会議	定時	社員全員で工場の見回り	経理の締め作業	休憩	採用活動等	お昼休憩	県庁との打ち合わせ	休憩	銀行との打ち合わせ	ラジオ体操、朝礼	出社

株式会社佐藤金属は、金属リサイクルを行う会社で、ダイバーシティの観点から女性働きやすい職場を目指しています。

札幌出身で東京大学卒の鳴海さんは、幹部として日々会社のために奮闘しています。思い描いていた理想のワークライフバランスを築き、公私ともに満喫している鳴海さんにお話を伺いました。

*入社したきっかけ

前職からの転職を考え、スカウト型転職サイトに登録したところ、佐藤金属からオファーがありました。

仕事に充実感を持ちたいという考えから、金属のリサイクルを通じて社会貢献している佐藤金属に関心を持ち、自分の知識や経験が活かせると思い、入社を決めました。



COMPANY * PROFILE *

株式会社佐藤金属

宮城県岩沼市下野郷字中野馬場 34 番地 48

TEL : 0223-23-4661

<https://sato-metal.co.jp/>

事業内容：
金属のリサイクル



* オフタイム *

オフロード用と長距離用のバイクを2台持っています。そのバイクで東北のラーメンめぐりに出掛けたこともあります。おすすめは山形と福島ラーメンです。東北は全般的にラーメンの宝庫だと思います。

バイクを停めて整備するために一軒家を借りました。バイク三昧の休日では趣味に没頭して過ごしています。

* いまのしごと *

管理部が私一人なので、人事・総務・経理・労務すべてに携わっています。

また、社長の手伝いで経営計画の作成なども行っています。会社の色々な仕事に携われることが、やりがいにつながっています。

* 宮城ではたらく魅力 *

岩沼市は地元ではありませんが、仙台市が近く便利な上、海や山もある自然豊かな立地が魅力的だったので選びました。

私が元々描いていたワークライフバランスを重視して岩沼市を選んだ結果、趣味と仕事の両立ができたことに満足しています。

* 未来へのビジョン *

会社をより成長させたいという方針に貢献したいと思っています。

職場の仲間に、「鳴海さんが来て良かった」と思ってもらえるようになりたいです。

INTERVIEW *

13

U
TURN

農業を他業種並みの 競争力を持った産業に変えたい

高橋 渉さん

2018年入社



高橋さんの一日

17 .. 30	13 .. 00	12 .. 00	9 .. 00	8 .. 45	8 .. 30
コンサルへ（月1回）	退社	事務作業・農家との調整	お昼休憩	デスクワーク（書類作成）	掃除
					朝礼
					出社

株式会社舞台ファームは、仙台市で代々続く農家の15代目が起業した米の生産・販売、野菜などの農産物の加工・販売、農業経営に関するコンサルティングを行う会社です。

「赤ちゃんが食べても安全で安心できる野菜・お米をつくる」ことを社是とし、大手企業とも提携しながら、消費者に安定して商品を提供するためのサプライチェーンを構築しています。

震災時の津波で大きな被害を受けましたが、多くの支援を受けられ、今も全国から愛される商品を作ることができています。

未経験ながら、農業の世界に飛び込んだ高橋さんにお話を伺いました。

*入社したきっかけ

東京で働いていた頃、本当にやりたい仕事は何だろうと考えるようになりました。自然や生き物が好きだったこともあり、自然に囲まれながら仕事ができる農業に興味を持ち始めま



COMPANY * PROFILE *

株式会社舞台ファーム

宮城県仙台市若林区日辺字田中 11 番地

TEL : 022-289-6768

FAX : 022-289-6243

<http://butaifarm.com/>



事業内容：

野菜・お米の生産・販売

農産物加工・販売（カット野菜／ホール野菜）

農業経営に関するコンサルティング

転職した私から

整理整頓清掃がきちんとしていて、挨拶を明るく返してくれたら、トイレが綺麗であればしっかりした会社だと思えます。

当社は社員一人ひとりのことをしっかり見て思ってくれる会社です。

どうしても仕事のイメージが湧きやすい会社を選びがちですが、幅広く色んな業界を見て決めてみてはいかがでしょうか。

* オフタイム *

英会話スクールに通って、日々語学の勉強に励んでいます。

近くの森林公園に散歩に行き、読書や勉強するのが日課です。

した。

仙台市で農業関連の会社説明会に参加し、国の研修制度を利用して農業の世界に飛び込みました。その後、地元である仙台市の農業法人である舞台ファームのことをホームページで知り、圧倒的な情熱と先進的な取り組みに惹かれ、研修終了後に入社しました。

また、実家がある仙台市から通えるのも決め手の一つでした。

* いまのしごと

農業経営コンサルティングや米の仕入れ、管理や経理まで幅広い業務に携わっています。前職で覚えたエクセルのスキルなどが今の業務で役に立っています。

* 地元ではたらく魅力

学生時代も含め、東京や大阪での生活も経験しましたが、地元は海鮮が美味しく、松島や青葉城もあり魅力が沢山あります。何より家族の側にいられるのが嬉しいです。

* 未来へのビジョン

全国の一般企業に負けない会社になり、そして農業そのものを他の産業に負けない、儲かる産業にすることが目標です。

INTERVIEW

14

TURN

誰かをアシストすることに やりがいを感じる

佐藤 勸子さん

2019年入社

株式会社ワンテールは、都市型農業や地域風土の再生に関するコンサルティングやプロデュース、また長期保存ができる防災ゼリー食品「LIFE STOCK」の開発など、東日本大震災の経験を礎に創業した新しい会社です。

そこで働く佐藤さんは経理を担当しながら、仕事の領域を広げている女性です。

会社から大きな信頼を得るに至った佐藤さんにお仕事のこと、これからのことなどお話を伺いました。

*入社したきっかけ

宮城県名取市で食品関係の事務・経理の仕事で10年間勤めていましたが、このままでは仕事の幅が限られてしまうと感じ、もっと仕事の幅を広げたいと思い、転職を決意しました。

中学生と4歳になる2人の子供がいるた



COMPANY * PROFILE *

株式会社ワンテابل

宮城県多賀城市八幡字一本柳117-8

TEL : 022-355-6696

FAX : 022-355-6695

<https://www.onetable.jp/>



事業内容：

都市型農業の開発・コンサルティング/地域
風土の再生・プロデュース/備蓄用食品の開
発 (LIFE STOCK) /非常用発電対応ソリュー
ション

佐藤さんの一日

17 .. 30	13 .. 00	12 .. 00	9 .. 00
退社	デスクワーク	お昼休憩	出社
（会社の退社時間は18:00 だが30分の時短勤務）			

*いまのしごと

め、ハローワークなどになかなか出向くことができず、求職にはインターネットを活用していました。求人エージェントのサイトで探していたところ、ワンテابلの求人を発見し、会社のことを知りました。

その後、会社のWEBサイトに掲載されていた「事業を通じて被災地を活性化したい」というメッセージに感銘し、応募を決意しました。

現在は経理・事務を担当しています。月次決算や年次決算の時、会社の税理士と密に協働しながら作業を進めます。税理士との仕事は大変勉強になります。

また、事業内容の改善会議にも参加して、経理・事務の立場で意見を発言できるので、会社の運営に関わることができ、大変やりがいを感じています。

前職の事務・経理の頃から、自分のアシストで業務がうまく進行することに喜びを感じ、やりがいにつながっていたので、ワンテابلでの業務もそのことを意識しながら働いています。



長期保存可能な防災ゼリー「LIFE STOCK」

転職した私から
自分になりたいものを
明確にして、それに
沿って就活をするのが
大事だと思います。



*宮城ではたらく魅力

私の出身は秋田県です。高校卒業後、宮城県へ出てきました。こちらは、通勤ラッシュで満員電車で揺られることもないですし、街もあり、山もあり、海もありで良いところだと思います。

子供の就学環境も整っています。高校受験の時、秋田県では多くの学生が公立高校を志望する傾向が強い印象でした。一方、宮城県では公立高校に加え、私立高校も併せて受験する傾向があるので、子供にとって選択肢が多くなることは良いことだと思います。

*未来へのビジョン

これからはAIの時代になると言われていますが、AIに負けない人材になれるように、この会社で実務経験を積んでいき、努力していきたいと思っています。

*オフタイム

月に2回のホットヨガと家族でカラオケに行くことが良い気分転換になっています。

UIJ TURN TURN TURN R RE-EMPLOYMENT



令和2年3月発行
復興庁雇用促進班

お問い合わせ
TEL 03-6328-0274

